

平成27年9月25日

諏訪圏ものづくり推進機構と「業務連携・協力に関する協定」締結

諏訪信用金庫はNPO法人諏訪圏ものづくり推進機構と「業務連携・協力に関する協定」を締結しました。締結式は平成27年9月18日(金)、諏訪信用金庫本店で行われ、ものづくり推進機構の小坂和夫常務理事と当金庫の今井誠理事長が協定書に署名し、握手を交わしました。

【連携目的】

諏訪信用金庫はこれまで、信州大学や諏訪東京理科大学といった近隣大学や日本政策金融公庫などと連携協定を結び、取引先企業がそれぞれのステージで抱える課題に対して、専門家をマッチングさせるなどの支援を行っています。また、国の支援機関「ミラサポ」や長野県よろず支援拠点を通じ、取引先企業へ専門家やアドバイザーも派遣しています。それでも企業の課題は多種多様で専門性もあることから、今般の同推進機構との業務連携・協力に関する協定は、これをさらに強化するものです。

【連携概要】

同推進機構には、企業への支援活動に向け、製造業の技術者をはじめ、経営者、人材育成、品質保証、小売り、観光業など多くの業種に携わった企業OBら専門家が約130人登録し、90人以上が常時、活動できる状態です。連携協定締結後は、この「専門アドバイザー」を活用します。当金庫が持つ幅広い取引先企業との聞き取りから、専門家派遣要請があった際には、当金庫と同推進機構は適任者を選び、派遣する支援を行います。



協定書に署名し、握手する小坂和夫常務理事と今井誠理事長